

“リノベーションまちづくり”から 始める新たな『まち』の創造

～もっと『まち』を楽しもう！！～

株式会社清水家守舎
有限会社森平製材所
代表取締役 森 正芳

Profile

昭和49年1月27日生まれ (46歳)
世間的には団塊ジュニアと呼ばれる世代の初老です。

中学までは、世の中「バブル経済」真っ只中。
大学出れば、職はいくらでもある！と当時の担任には
言われるが、高校時代の平成3年バブル崩壊。
大学進学した途端に平成不況。
就活時には、就職超氷河期と呼ばれる時代になる。

親のコネ（笑）で、材木屋（スンエン）に就職。
千葉で激務をこなし、体重は20kg増加。このときは
筋肉だった。（と思う。）3年目のある日、主任が
突然クビになり、その日から月商2000万の営業マン
になる。
今思えば、この時いい経験をさせてもらった。

社会人4年目、このころ家業である森平製材所の従業員
高齢化により人手不足になる。
最低5年は修行していけ。と言われ入った会社を4年
で退社。申し訳ない。





平成12年4月～森平製材所入社

千葉での経験を元に、反面教師で事業拡大に奔走する。

が、人口減少時代に入り、一つの事業の拡大では先々行き詰まると考えるようになり、新規事業を模索し始める。

ネットで知った「古材ビジネス」をどういうわけか、やる前から「オレこれ成功する。」と確信し、父である社長を説得し事業開始。

ニッチで人がやらなそうなビジネスをやる面白みに気づく。

「古材」をキッカケに店舗内装、家具製造、古民家再生工事など、思いもよらなかった方向に事業展開する。

平成24年4月～森平製材所 代表取締役就任

平成27年11月 ある人から静岡市が「リノベーションまちづくり」を立ち上げて、民間のプレイヤーを探していると聞く。

またもや「あ、オレこれ・・・」と勘違い（笑）して、

平成29年7月7日 七夕に『清水家守舎』設立
代表取締役就任



しみず やもりしゃ
清水家守舎

【経営理念】

清水のまちをもっと楽しく、おもしろく！
100年後も人が溢れ、笑顔の溢れる清水のまちを俺たちが創る！！

【目的】

人口減少問題・事業所減少問題が深刻な静岡市清水区において、民間による低投資かつ効率的な経営による遊休不動産の活用事業を行うことで、清水のまちを愛する人が老若男女問わず活躍し、新規事業創造、仕事の創出による、まちの再生を実現し、豊かで住みよい清水をつくる。

リノベーション事例

企業独身寮 ⇒ シェアハウス









リノベーション事例

洋品店(空き家) ⇒ 日本酒BAR





リノベーション事例

ビル空きテナント(10年以上) ⇒ 貸会議室 兼 居酒屋個室









リノベーション事例

空き家 ⇒ パン屋





創業6年の毎日パン工房
和食パンの専門店
24時間体制のパン
ご注文いただいたから仕上げる
1-16-2-20111111
旬の素材の味を知る
2000年に優しい
手製パンの専門店



Bread with
Dried fruits & Nuts

シヤパン

電話 054-340-5800
営業時間 10:00-18:00
日・月曜休



10月19日(土)
Open

SECOM

10月19日(土)
Open

Bread with
Dried fruits & Nuts



リノベーション事例

物置倉庫 ⇒ 本屋





55

closed

photo timido

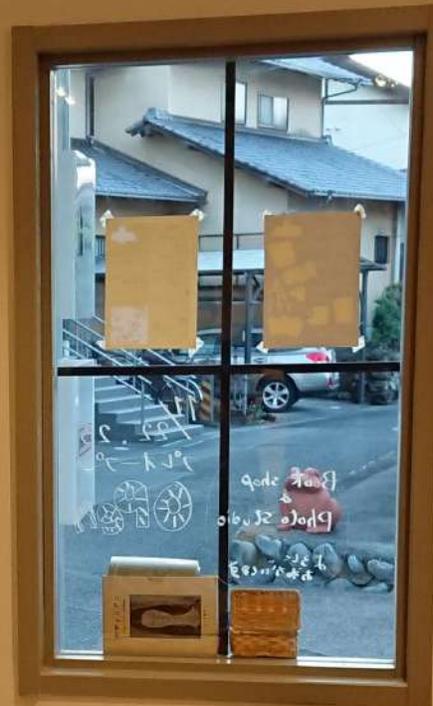
Coca-Cola

photo timido

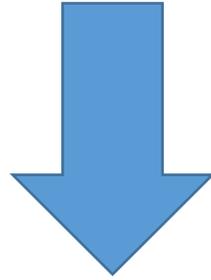
Coke 1.5L

100%





空き家・空き店舗・空き地など使われなくなった空間を
有効活用する方法はないだろうか？



“リノベーションまちづくり”

“リノベーションまちづくり”とは

- 1軒だけで何のお店をやるのかを考えるのではなく、その周辺数百mのスモールエリアの未来を創造すること
- 今使われていないものを活かし、新しい使い方をしてまちを変える
- 民間主導でプロジェクトを興し、行政が支援する形で行う「民間主導の公民連携」の形が基本である
- 遊休不動産という空間資源と潜在的な地域資源を活用して、民間自立型プロジェクトを興し地域を活性化させる
- 補助金にはなるべく頼らない

エリアの明るく楽しい未来をニヤニヤしながら
妄想すること、が大事。

(だと思ふ。)

みんなで、妄想してみましよう。

楽しむ人が、
楽しいお店を
楽しくやる。

それを楽しみにして人が来る。

その連鎖を起こし続ける・・・

しかない。と思う。